第59回栃木県母親大会 in みぶ
第9回壬生町母親大会

生命(いのち)を生みだす母親は　生命(いのち)を育て　生命(いのち)を守ることを　のぞみます

―つなぎあおう平和の手と手―

日時　２０２６年１１月１５日（日）
受付開始 9：30～

場所　壬生城址公園ホール
（旧壬生中央公民館）
分科会：展示中ホール、各教室
全体会：大ホール（手話付き）

★全体会オープニング
壬生町非核宣言文をうたう会による合唱

参加協力費１，０００円
（高校生以下、障がいのある方、
障がいの方の付き添い１名無料）
・託児保育あります
（申し込み 10 月 31 日まで）
・どなたでも参加できます
・男性の参加も大歓迎
・昼食は各自ご用意ください



記念公演
歌手・バンドゥーラ奏者
カテリーナさん



＜カテリーナさんプロフィール＞
ウクライナ、チェルノブイリ原発近くの出身。日本を拠点に活動する実力派。ウクライナの民族楽器バンドゥーラを奏でながら歌い、その美しい音色と歌声で日本の伝統や心に触れる音楽を全国に届けている。2008年来日以来、チャリティーコンサートやウクライナ料理の紹介、通訳、メディア出演など幅広く活動中。
メッセージ、演奏を通して故郷ウクライナの文化と、戦争や原発事故のない平和な世界への願いを伝えている。

主催　第59回栃木県母親大会実行委員会/第9回壬生町母親大会実行委員会
連絡先　080-1190-6440（藤木）　0282-25-7046（新婦人県本部気付）

後援　栃木県　同教育委員会　下野市　同教育委員会　壬生町　同教育委員会
東京新聞宇都宮支局　朝日新聞宇都宮総局　読売新聞宇都宮支局　毎日新聞宇都宮支局
株式会社下野新聞社　NHK 宇都宮放送局　株式会社栃木放送　株式会社とちぎテレビ
ケーブルテレビ栃木　栃木県生活協同組合連合会　新日本婦人の会栃木県本部

分科会(10:00～12:00)

第１分科会 １Ｆ　中会議室	平和を考える「“戦争させない”“どうする？”」 助言者　天谷静雄（栃木県原水協・栃木革新懇代表委員、医師）
第２分科会 ２Ｆ　視聴覚室	子どもと教育「大きく変わる学校や社会の中で今、子どもを守るには」 助言者　小林英二（認定 NPO 法人チャレンジド・コミュニティ相談役）
第３分科会 ２Ｆ実技実習室	食と農の問題「どうなる日本の農業・安心安全な食生活をもとめて」 助言者　國母克行（栃木農民連会長、民間稲作研究所副理事長）
第４分科会 ２Ｆ　学習室	これからどうなる医療と年金 助言者　早乙女利次（国民救援会栃木県本部事務局長・医療生協組合理事）

★特別企画　中ホール

「うたで綴る母親大会のあゆみ」（いのちのあゆみ）



★展示コーナー　高校生が描いた原爆絵展
母親大会のあゆみ資料



母親大会ってなあに

1954年、アメリカの水爆実験でマグロ漁船の久保山愛吉さんが、死の灰を浴びて亡くなりました。広島、長崎につぐ三度目の被爆に、母親たちは「原水爆なくせ」の署名運動に立ち上がり、その活動を全国に広げました。1955年、日本の母親の声は、平塚らいてうさんたちによって国際民主婦人同盟に届けられ、「原水爆から子どもをまもろう」と世界母親大会の開催が決まりました。それに先立ち、6月には第1回日本母親大会が東京で開かれ、日本各地の炭鉱や農村からも一円募金などで送り出された2000人の母親たちが集まりました。以来、今日まで、毎年大会が継続され「母親が変われば社会が変わる」と、母親、女性の願い実現のために粘り強い運動を進めています。



壬生町城址公園ホール
（壬生町本丸一丁目８番３３号）
電話番号
0282-82-0108